

## ETC車載器と接続して使う

ETC車載器からの情報に連動して、本機から料金案内などを行います。

また、料金所で支払った料金のリストを見ることができます。

- ETC車載器を本機に接続するには、別売のETC車載器接続コードが必要です。
- ETC車載器接続時は、地図画面に「ETC」と表示されます。
- ETC拡大図を「表示する」に設定してください。(P.156ページ)

ETC車載器を本機に接続すると、ETC車載器側の機能が一部制限されます。

- ETC車載器の一部のボタンは操作できません。
- ETC車載器からの音声案内は行いません。ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。ただし、以下のようなときは、ETC車載器から音声案内されます。
  - ETCカードを入れたままエンジンをかけた(ACCをONにした)とき「ETCカードが挿入されています。」などと音声案内されます。
  - ETCカードを入れたままエンジンを切ったとき「カードが残っています。」と音声案内されます。
  - オーディオ画面表示時および音声出力と画面表示を「切」(パワーOFF)にしている場合は、ETC車載器から音声案内されます。

### 拡大図が表示されないETC料金所について

- 新しく設置されたETC料金所などでは、拡大図が表示されない場合があります。そのときは、音声案内のみ行います。

### お知らせ

- ETCゲートを通り過ぎてすぐに右左折するルートを通る場合などは、料金の音声案内を中断し、ルート音声案内を行う場合があります。
- 万一、利用できない場合は、「ETCゲートはご利用できません。」と音声案内されます。一般車線をご利用ください。
- オーディオを表示している場合は、ETC車載器から音声案内されます。ただし、ルート案内・拡大図割込(P.168ページ)が「する」に設定されている場合は、自動的にETC拡大図を表示し、ナビゲーションから音声案内されます。
- 表示される金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合がありますので、ご了承ください

## ■ 料金履歴のリストを表示するには

メニュー画面「情報」から  
ETC料金表示 を選ぶ



日付	料金	入口	出口
2006/07/03	1850円	熊本	～太宰府本線
2006/07/02	1650円	太宰府	～日田
2006/07/02	540円	---	---
2006/06/10	1800円	下関	～福岡本線
2006/06/09	1200円	福岡	～下関
2006/06/09	540円	---	---

- 料金履歴のリストが表示されます。(100件まで)
- 100件を超えると古い順にデータが消去されます。
- 件数が多いと、表示されるまでに時間がかかります。
- SDメモリーカードに保存 をタッチすると、表示中の画面をSDメモリーカードに保存できます。

### お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。料金履歴画面表示中は、ETC車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因になります。

## ■ 料金履歴の詳細を見るには

詳細を見たい項目を選ぶ



ETC料金履歴詳細情報			
2006/07/02	12:34	通過	
入口:	太宰府		
出口:	日田		
料金:	1650円		

## 車載用カメラ(リヤビューカメラ)に切り換える

HDS635RD・HDS625RDは、リヤビューカメラが付属しています。

### 準備

- HDS635RD・HDS625RD**
  - カメラスケールを設定してください。(P.26ページ)
- HDS635TD/D・HDS625TD/D**
  - カメラ割込みを「する」に設定し、カメラスケールを設定してください。(P.26ページ)

## 車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる



- カメラの映像が表示されます。

### お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- 画面OFF設定が「パワーOFF」時でも、自動的に電源が入り、カメラの映像が表示されます。(P.168ページ)
- チルト/イジェクト画面表示中は、シフトレバーを「R」に入れてもカメラの映像は表示されません。  
TILT を押して、チルト/イジェクト画面を消去してください。

### お願い

- カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両をバックさせる際には、必ず目視で確認してください。

### 実際の視野



### カメラの視野



## 2台目のモニターと組み合わせる

2台目のモニターに、本機のオーディオの映像が表示されます。オーディオの画面を表示中に「現在地」を押すと、本機にナビゲーション画面を表示したまま、2台目のモニターに選んだオーディオの映像を出力できます。  
[TV、DVD(VCD)、デジタルTV/外部入力のみ]

## 2台目のモニターでオーディオ画面を表示する

例) ナビゲーション画面を表示中に、2台目のモニターでオーディオを表示する。

[本機]



- ナビゲーション画面が表示されます。

[2台目のモニター]



- 選んだオーディオを表示します。
- 2台目のモニターは、本機を接続した入力モード(「ビデオ入力」など)に切り換えてください。

## 車載用ビデオ/ビデオカメラと組み合わせる

HDS635RD/D・HDS625RD/D

オーディオメニュー(P.110ページ)から

外部入力 を選ぶ



- 車載用ビデオなどの映像が表示されます。

### お知らせ

- HDS635TD・HDS625TDには、車載用ビデオ/ビデオカメラを接続できません。

# 利用に応じた設定に変える(ナビ設定)

## ナビ基本設定

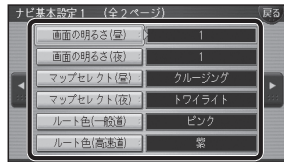
1 ツートップメニューから、**情報/設定** を選ぶ



2 **ナビ設定** → **ナビ基本設定** を選ぶ



3 設定したい項目を選ぶ



◀▶ で次ページを表示

4 各項目を設定する (右表)

項目	設定
<b>画面の明るさ(昼)</b> 昼画面の明るさを調整する。	●「1」「2」「3」「4」 (明) (暗)
<b>画面の明るさ(夜)</b> 夜画面の明るさを調整する。	●「1」「2」「3」「4」 (明) (暗)
<b>マップセレクト(昼)</b> (P.41 ページ) 昼画面の地図の配色を変更する。	●「クルージング」... ルートが見やすい配色 ●「トラフィック」... VICS 情報が見やすい配色 ●「タウン」... 市街区を色分けし、市街情報をより際立たせた配色 ●「トワイライト」... 夕暮れや夜間、トンネル内など、暗い車中で見やすい配色
<b>マップセレクト(夜)</b> (P.41 ページ) 夜画面の地図の配色を変更する。	●「クルージング」... ルートが見やすい配色 ●「トラフィック」... VICS 情報が見やすい配色 ●「タウン」... 市街区を色分けし、市街情報をより際立たせた配色 ●「トワイライト」... 夕暮れや夜間、トンネル内など、暗い車中で見やすい配色
<b>ルート色(一般道)</b> 一般道のルートの色を変更する。	●「ピンク」 ●「黄」 ●「緑」
<b>ルート色(高速道)</b> 高速道のルートの色を変更する。	●「紫」 ●「黄緑」 ●「水色」
<b>ビープ音</b> 操作時に出るビープ音を設定する。	●「シンプル」 ●「クール」 ●「リラックス」 ●「OFF」
<b>音声ガイド</b> 音声ガイドを案内する/しないを設定する。	●「する」... ナビの基本的な機能に関する操作を音声で案内します。(音声ガイド) ●「しない」... 音声ガイドは案内されません。
<b>オープニング</b> (P.148 ページ) HDDに保存した静止画データをオープニング画面として利用する。	●「カスタマイズ」 ● 静止画ファイルのリストから画像を選ぶ。 ●「標準に戻す」... お買い上げ時の画面に戻ります。
<b>お気に入りジャンル</b> 検索によく使うジャンルを「お気に入りジャンル」としてまとめて、ジャンル検索や周辺検索のときに役立つ。(100ジャンルまで) ● ジャンル一覧表 (P.207 ページ)	● ジャンルを選ぶ ● 「駅」 ● 「ガソリンスタンド」 ● 「駐車場」 ● 「ファーストフード」 ● 「ファミリーレストラン」 ● 「郵便局」 ● 「病院・医院」 ● 「都市銀行」 ● 「地方銀行」 ● 「コンビニエンスストア」 ● 「パリアフリートイレ」
<b>ランドマークセレクト</b> 地図上に表示するランドマークを設定する。(ランドマーク P.31 ページ)	● 表示したいランドマークを選ぶ。 ● 「おすすめ表示」 ● 「3Dランドマーク」 ● 詳マークの付いた項目を選ぶと、企業ランドマークを選べます。 ● 全項目を選べます。 ● リモコンの <b>ピュ</b> を押しても全項目を選べます。



(太字はお買い上げ時の設定です。)



# 利用に応じた設定に変える(ナビ設定)

## 地図表示設定

1 ツートップメニューから、**情報/設定** を選ぶ



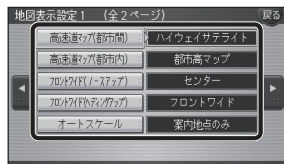
2 **ナビ設定** → **ナビ詳細設定** を選ぶ



3 **地図表示設定** を選ぶ



4 設定したい項目を選ぶ



5 **各項目を設定する** (右表)

### ■ ランドマークカスタマイズについて

- 追加・変更したランドマークが表示されない場合は、ナビ基本設定→**ランドマークセレクト**から、追加・変更したランドマークの業種を選んで表示させてください。(P.152ページ)  
「デパート、スーパー、カー用品」は、「おすすめ表示」を選ぶと表示されます。
- 一部のランドマークは、消去しても地図上に表示されている場合があります。そのときは、再度消去してください。

項目	設定		
<b>高速道マップ(都市間)</b> (P.29ページ) 都市間高速を走行時に表示する地図を設定する。	●「 <b>ハイウェイサテライト</b> 」 ●「 <b>ハイウェイマップ</b> 」 ●「 <b>表示しない</b> 」		
<b>高速道マップ(都市内)</b> (P.29ページ) 都市間高速を走行時に表示する地図を設定する。	●「 <b>都市高マップ</b> 」 ●「 <b>ハイウェイマップ</b> 」 ●「 <b>表示しない</b> 」		
<b>フロントワイド(ノースアップ)</b> ノースアップ時の現在地表示を設定する。	●「 <b>フロントワイド</b> 」..... 進行方向の地図を広く表示します。 ●「 <b>センター</b> 」..... 自転車マークを地図の中心に表示します。		
<b>フロントワイド(ヘディングアップ)</b> ヘディングアップ時の現在地表示を設定する。	●「 <b>フロントワイド</b> 」..... 進行方向の地図を広く表示します。 ●「 <b>センター</b> 」..... 自転車マークを地図の中心に表示します。		
<b>オートスケール</b> ルート案内状況に応じて地図の縮尺を自動で切り換えます。(P.77ページ)	●「 <b>する</b> 」..... ルート上の分岐交差点や目的地に近づいたときや、走行中の道路の種類が変わったときに自動的に縮尺が切り換わります。 また、走行中の道路の種類が変わったときにも、下記の通り縮尺が切り換わります。 ・細街路(25 m) ・一般道路(100 m) ・都市高速(400 m) ・都市間高速(800 m) ●「 <b>案内地点のみ</b> 」..... ルート上の分岐交差点や目的地に近づいたときのみ、自動的に縮尺が切り換わります。 ●「 <b>しない</b> 」..... 自動的に縮尺は切り換わりません。(オートスケール解除)		
<b>走行軌跡</b> (P.32ページ) 自転車が走行した軌跡を青い点で表示する。	●「 <b>表示する</b> 」..... 走行軌跡が表示されます。 ●「 <b>表示しない</b> 」..... 走行軌跡は表示されません。(消去されます。)		
<b>抜け道</b> (P.32ページ) 抜け道を表示する。(縮尺: 10 m~400 m)	●「 <b>表示する</b> 」..... 抜け道(緑色の線の点滅)が表示されます。 ●「 <b>表示しない</b> 」..... 抜け道は表示されません。		
<b>スクロールモード</b> スクロール時の表示のしかたを設定する。	●「 <b>2 D</b> 」..... 3D表示時、スクロールすると2D画面に切り換わります。 ●「 <b>3 D</b> 」..... 3D表示時、3D表示のままスクロールできます。		
<b>ランドマークカスタマイズ</b> 地図上に表示される企業ランドマークをカスタマイズできます。	<b>登録</b> ランドマークを登録する。	●登録したい地点を表示させ、 <b>決定</b> を選ぶ。	● <b>登録</b> を選ぶ。 ●リストから、ランドマークを選ぶ。 →ランドマークが登録されます。
	<b>変更</b> ランドマークを変更する。	●変更したいランドマークを選び、 <b>決定</b> を選ぶ。	● <b>変更</b> を選ぶ。 ●リストから、ランドマークを選ぶ。 →選んだランドマークに変更されます。
	<b>消去</b> ランドマークを消去する。	●消去したいランドマークを選び、 <b>決定</b> を選ぶ。	● <b>消去</b> を選ぶ。 ● <b>確認</b> を選ぶ。 →選んだランドマークが消去されます。
	<b>修正取消</b> 地図の中心から半径約5 km前後のランドマークを、お買い上げ時の状態に戻す。	●お買い上げ時の状態に戻したい付近の地図を表示させ、 <b>決定</b> を選ぶ。	● <b>修正取消</b> を選ぶ。 ● <b>はい</b> を選ぶ。 →地図の中心から半径約5 km前後のランドマークを、お買い上げ時の状態に戻します。

(太字はお買い上げ時の設定です。)

# 利用に応じた設定に変える(ナビ設定)

## 探索案内設定

1 ツートップメニューから、  
「情報/設定」を選ぶ



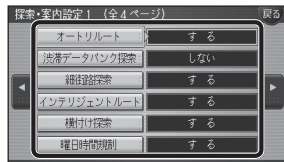
2 ナビ設定 →  
「ナビ詳細設定」を選ぶ



3 探索案内設定 を選ぶ



4 設定したい項目を選ぶ



◀▶ で次ページを表示

5 各項目を設定する  
(※右表)

項目	設定				
<b>オートリルート</b> (※73ページ) オートリルートする/しないを設定する。 ●通常は「する」に設定してください。	●「 <b>する</b> 」..... ルートからはずれたとき、自動的に再探索します。 ●「 <b>しない</b> 」..... ルートからはずれても、自動的に再探索しません。				
<b>渋滞データバンク探索</b> (※72ページ) 渋滞データバンク探索する/しないを設定します。	●「 <b>する</b> 」..... 渋滞データバンクを考慮してルートが探索されます。 ●「 <b>しない</b> 」..... 渋滞データバンクはルート探索に反映されません。				
<b>細街路探索</b> ※ (※72ページ) 細街路(幅3.3 m~5.5 m)を探索する/しないを設定します。	●「 <b>する</b> 」..... 出発地・経由地・目的地周辺の細街路も含めてルート探索されます。 ●「 <b>しない</b> 」..... 細街路を通るルートは探索されません。				
<b>インテリジェントルート</b> ※ (※70ページ) インテリジェントルートを使う/使わないを設定します。	●「 <b>する</b> 」..... 普段よく通る道が自動的に登録され、ルート探索に反映されます。 ●「 <b>しない</b> 」..... インテリジェントルートは登録・利用できません。				
<b>横付け探索</b> ※ (※72ページ) 経由地や目的地の前(進行方向左側)に横付けする/しないを設定する。	●「 <b>する</b> 」..... 経由地・目的地付近の道幅が広い場合(約13m以上)横付け探索されます。 ●「 <b>しない</b> 」..... 横付け探索されません。				
<b>曜日時間規制</b> ※ (※72ページ) 規制時間帯(月/曜日/時間)を考慮する/しないを設定する。	●「 <b>する</b> 」..... 曜日時間規制を考慮したルートが探索されます。 ●「 <b>しない</b> 」..... 考慮せずに常時規制されているものとしてルートが探索されます。				
<b>高速優先レベル</b> (※70ページ) 高速道路優先で探索するとき、高速道路を優先する割合を設定する。	●「 <b>高レベル</b> 」..... 標準と比べ、積極的に高速道路を通るルートが探索されます。 ●「 <b>標準</b> 」..... 標準的な優先度で高速道路を通るルートが探索されます。				
<b>新旧ルート比較</b> (※75ページ) DRGS、曜日時間規制探索でルートが変わったときに、新旧ルート比較画面を表示する/しないを設定する。	●「 <b>する</b> 」..... 新旧ルート比較画面が表示されます。 ●「 <b>しない</b> 」..... DRGS、曜日時間規制探索でルートが変わったときは、常に変更後のルートになります。(新旧ルート比較画面は表示されません。)				
<b>残距離表示</b> (※33ページ) 目的地/経由地のどちらまでの残距離を表示するかを設定する。	●「 <b>目的地</b> 」..... 自転車位置から目的地までの距離と到着予想時刻を表示。 ●「 <b>経由地</b> 」..... 自転車位置から経由地までの距離と到着予想時刻を表示。				
<b>到着予想時刻</b> (※33ページ) 到着予想時刻を算出する方法(自動/手動)を選ぶ。 ●通常は「自動」に設定してください。	●「 <b>自動</b> 」..... 車速信号をもとに、自動的に到着予想時刻が計算されます。 ●「 <b>手動</b> 」 高速道路/一般道路の平均車速を入力してください。 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>●「<b>高速道路</b>」</td> <td>●平均車速を入力する。(調整範囲:10~180 km/h)</td> </tr> <tr> <td>●「<b>一般道路</b>」</td> <td>●平均車速を入力する。(調整範囲:10~180 km/h)</td> </tr> </table>	●「 <b>高速道路</b> 」	●平均車速を入力する。(調整範囲:10~180 km/h)	●「 <b>一般道路</b> 」	●平均車速を入力する。(調整範囲:10~180 km/h)
●「 <b>高速道路</b> 」	●平均車速を入力する。(調整範囲:10~180 km/h)				
●「 <b>一般道路</b> 」	●平均車速を入力する。(調整範囲:10~180 km/h)				
<b>目的地方向直線</b> 目的地方向直線を表示する/しないを設定する。	●「 <b>表示する</b> 」..... 地図画面で、目的地方向への直線が表示されます。 ●「 <b>表示しない</b> 」..... 目的地方向直線は表示されません。				
<b>ルートスクロール</b> (※75ページ) ルートスクロールする/しないを設定する。	●「 <b>する</b> 」..... ルート案内中、ルートに沿ってスクロールし、ルートを確認できます。 ●「 <b>しない</b> 」..... ルートスクロールされません。				
<b>ハイウェイ分岐案内</b> (※30ページ) 3Dハイウェイ分岐案内を表示する/しないを設定する。	●「 <b>表示する</b> 」..... 高速道路の分岐点で、3Dハイウェイ分岐案内が表示されます。 ●「 <b>表示しない</b> 」..... 3Dハイウェイ分岐案内は表示されません。				
<b>ハイウェイ入口案内</b> (※30ページ) 3Dハイウェイ入口案内を表示する/しないを設定する。	●「 <b>表示する</b> 」..... 都市高速の入口付近で3Dハイウェイ入口案内が表示されます。 ●「 <b>表示しない</b> 」..... 3Dハイウェイ入口案内は表示されません。				
<b>ETC拡大図</b> (※30ページ) ETC拡大図を表示する/しないを設定する。 ●別売のETC車載器使用時は、「表示する」に設定してください。	●「 <b>表示する</b> 」..... 料金所付近でETC拡大図が表示されます。 ●「 <b>表示しない</b> 」..... ETC拡大図は表示されません。				

※ルート案内中に設定を変更すると、自動的に再探索を行います。

(太字はお買い上げ時の設定です。)

# 利用に応じた設定に変える(ナビ設定)

## 探索案内設定(続き)

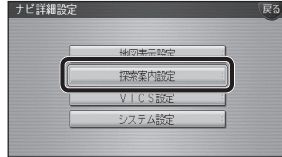
1 ツートップメニューから、**情報/設定** を選ぶ



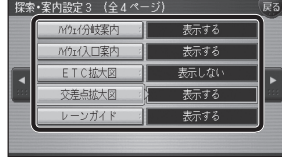
2 ナビ設定 → **ナビ詳細設定** を選ぶ



3 **探索案内設定** を選ぶ



4 設定したい項目を選ぶ



◀▶ で次ページを表示

5 各項目を設定する (P. 右表)

項目	設定
<b>交差点拡大図</b> (P. 30ページ) 交差点拡大図を表示する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「表示する」..... 交差点で、交差点拡大図が表示されます。</li> <li>●「表示しない」..... 交差点拡大図は表示されません。</li> </ul>
<b>レーンガイド</b> (P. 30ページ) 3Dレーンガイドを表示する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「表示する」..... 分岐する交差点で3Dレーンガイドが表示されます。</li> <li>●「表示しない」..... 3Dレーンガイドは表示されません。</li> </ul>
<b>方面看板</b> (P. 33ページ) 方面看板を表示する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「表示する」..... 一般道でのルート案内中、方面看板が表示されます。</li> <li>●「表示しない」..... 方面看板は表示されません。</li> </ul>
<b>レーン看板</b> (P. 33ページ) レーン看板を表示する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「表示する」..... 一般道でのルート案内中、レーン看板が表示されます。</li> <li>●「表示しない」..... レーン看板は表示されません。</li> </ul>
<b>ルートガイド</b> (P. 33ページ) ルートガイドを表示する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「表示する」..... 一般道でのルート案内中、ルートガイドが表示されます。</li> <li>●「表示しない」..... ルートガイドは表示されません。</li> </ul>
<b>カーブ案内</b> カーブ案内する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「する」..... ルート案内中に、カーブ案内されます。</li> <li>●「しない」..... カーブ案内されません。</li> </ul>
<b>分岐名称案内</b> 分岐名称案内する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「する」..... 分岐点までの距離と曲がる方向を音声案内するとき、交差点名や高速道路の方面名なども案内されます。</li> <li>●「しない」..... 分岐名称案内されません。</li> </ul>
<b>事故多発地点</b> <b>マーク表示</b> (P. 32ページ) マークを表示する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「表示する」..... 事故多発地点のマークが表示されます。</li> <li>●「表示しない」..... 事故多発地点のマークは表示されません。</li> </ul>
<b>音声案内</b> (P. 78ページ) 音声案内する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「案内する」..... 事故多発地点手前の約300 mで音声案内されます。</li> <li>●「案内しない」..... 事故多発地点は音声案内されません。</li> </ul>

(太字はお買い上げ時の設定です。)



# 利用に応じた設定に変える(ナビ設定)

## VICS設定

1 ツートップメニューから、**情報/設定** を選ぶ



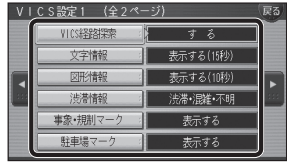
2 **ナビ設定** → **ナビ詳細設定** を選ぶ



3 **VICS設定** を選ぶ



4 設定したい項目を選ぶ



◀▶ で次ページを表示

5 各項目を設定する (P.70右表)

項目	設定
<b>VICS経路探索</b> (P.70ページ) VICS経路探索する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>する</b>」..... ルート探索時に、VICS情報を利用したルート探索を行います。</li> <li>●「<b>しない</b>」..... VICS経路探索されません。</li> </ul>
<b>文字情報</b> (P.93ページ) ビーコンで受信した文字情報を自動表示する時間を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>表示する(10秒)</b>」..... ビーコン文字情報が10秒間表示されます。</li> <li>●「<b>表示する(15秒)</b>」..... ビーコン文字情報が15秒間表示されます。</li> <li>●「<b>表示する(20秒)</b>」..... ビーコン文字情報が20秒間表示されます。</li> <li>●「<b>表示しない</b>」..... ビーコン文字情報は自動表示されません。</li> </ul>
<b>図形情報</b> (P.93ページ) ビーコンで受信した図形情報を自動表示する時間を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>表示する(10秒)</b>」..... ビーコン図形情報が10秒間表示されます。</li> <li>●「<b>表示する(15秒)</b>」..... ビーコン図形情報が15秒間表示されます。</li> <li>●「<b>表示する(20秒)</b>」..... ビーコン図形情報が20秒間表示されます。</li> <li>●「<b>表示しない</b>」..... ビーコン図形情報は自動表示されません。</li> </ul>
<b>渋滞情報</b> (P.34ページ) 渋滞情報を受信したときに渋滞を示す矢印を地図上にどのタイプで表示させるかを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>渋滞・混雑・渋滞なし</b>」..... 渋滞(赤)、混雑(橙)、渋滞なし(緑)の矢印が表示されます。</li> <li>●「<b>渋滞・混雑・不明</b>」..... 渋滞(赤)、混雑(橙)、不明(灰)の矢印が表示されます。</li> <li>●「<b>渋滞・混雑</b>」..... 渋滞(赤)、混雑(橙)の矢印が表示されます。</li> <li>●「<b>表示しない</b>」..... 渋滞矢印は表示されません。</li> </ul>
<b>事象・規制マーク</b> (P.35ページ) 事象・規制マークを表示する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>表示する</b>」..... 事象・規制マークが地図上に表示されます。</li> <li>●「<b>表示しない</b>」..... 事象・規制マークは表示されません。</li> </ul>
<b>駐車場マーク</b> (P.34ページ) 駐車場マークを表示する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>表示する</b>」..... 駐車場マークが地図上に表示されます。</li> <li>●「<b>表示しない</b>」..... 駐車場マークは表示されません。</li> </ul>
<b>VICS受信案内</b> VICS情報受信時の案内方法を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>音声</b>」..... 「(例)FM多重でVICS情報を受信しました」と音声で案内されます。</li> <li>●「<b>ビープ音</b>」..... ビープ音で案内します。</li> <li>●「<b>案内しない</b>」..... VICS情報受信時の案内は行いません。</li> </ul>
<b>VICSオートスケール</b> (P.76ページ) VICSオートスケール表示する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>する</b>」..... VICS音声案内時に、ルート前方の渋滞状況が表示されます。</li> <li>●「<b>しない</b>」..... VICSオートスケール表示されません。</li> </ul>
<b>FMインフォメーション</b> (P.98ページ) FMインフォメーションを自動表示する/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>自動表示する</b>」..... 停車するとFMインフォメーションが自動表示されます。</li> <li>●「<b>自動表示しない</b>」..... FMインフォメーションは自動表示されません。</li> </ul>
<b>ネット選局</b> (P.95ページ) 受信状態によって放送局を自動的に切り換える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>する</b>」..... 受信状態によって同系列の放送局に自動的に切り換わります。</li> <li>●「<b>しない</b>」..... ネット選局されません。</li> </ul>

(太字はお買い上げ時の設定です。)

# 利用に応じた設定に変える(ナビ設定)

## システム設定

1 ツートップメニューから、**情報/設定** を選ぶ



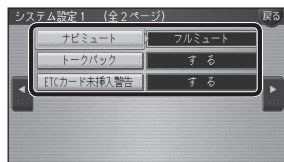
2 ナビ設定 → **ナビ詳細設定** を選ぶ



3 **システム設定** を選ぶ



4 設定したい項目を選ぶ



◀▶ で次ページを表示

5 各項目を設定する (右表)

項目	設定
<b>ナビミュート</b> ナビゲーションの音声案内時のオーディオの音声を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「フルミュート」..... オーディオの音声が消音されます。</li> <li>●「ハーフミュート」..... オーディオの音声が約7ステップ下がります。</li> <li>●「しない」..... ナビミュートされません。</li> </ul>
<b>トークバック</b> トークバック※する/しないを設定する。 ※ルート案内・VICS 音声案内以外の音声 (「周辺施設検索を開始します」など) のことです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「する」..... トークバックされます。</li> <li>●「しない」..... トークバックされません。</li> </ul>
<b>ETCカード未挿入警告</b> ETCカード未挿入警告をする/しないを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「する」..... ETC車載器接続時、本機からETCカード未挿入警告が出力されます。</li> <li>●「しない」..... ETC未挿入警告は、本機からも、ETC車載器からも出力されません。</li> </ul>
<b>車速補正係数</b> 車速補正係数を、自動または手動に設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「自動」..... 車速パルスをもとに、車速補正係数が自動的に補正されます。 <b>通常は「自動」に設定してください。</b></li> <li>●「手動」..... ● 車速補正係数を入力する。</li> </ul>
<b>車速パルス検出レベル</b> 車速パルス検出レベルを、「標準」または「低レベル」に設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「標準」..... <b>通常は「標準」に設定してください。</b></li> <li>●「低レベル」..... 「標準」では車速パルスが検出できないときに設定します。(お買い上げの販売店にご相談ください。)</li> </ul>
<b>タッチパネル調整</b> タッチパネルで項目をうまく選べない場合に調整する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 通常、この操作は必要ありません。</li> <li>● タッチパネル調整時のメニュー操作は、リモコンで行うことをお奨めします。</li> <li>● 「+」印を正確にタッチしてください。正確にタッチしないと、タッチパネルで項目をうまく選べなくなる場合があります。</li> </ul>	画面上の「+」印を順にタッチする(4カ所)  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 左下から順に、四隅に「+」印が表示されます。</li> </ul> ● <b>完了</b> を選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「設定を変更しています。電源を切らないでください。」と表示されている間(設定保存中)は、電源を切らないでください。設定が正常に保存されない場合があります。</li> </ul>
<b>各種設定リセット</b> ナビ設定/DVD設定/AUDIO設定/初期設定がお買い上げ時の状態に戻ります。 ただし、下記の設定はお買い上げ時の状態には戻りません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付角度</li> <li>● ランドマークカスタマイズ</li> <li>● 車速補正係数</li> <li>● 車速パルス検出レベル</li> <li>● タッチパネル調整</li> </ul> 十分確認のうえ、行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「設定をリセットする」..... ● <b>はい</b> を選ぶ。</li> <li>● 「前の画面に戻る」..... →システム設定画面に戻ります。</li> </ul>
<b>システムの初期化</b> 本機がお買い上げ時の状態に戻ります。 下記の情報が消去されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録ポイント</li> <li>● ルート設定メモリー</li> <li>● 走行軌跡メモリー</li> <li>● ドライブルート</li> <li>● 音楽データ</li> <li>● 静止画データ</li> <li>● 全ての設定内容</li> </ul> 初期化により消去されたデータはもとに戻せません。 十分確認のうえ、行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「初期化する」..... ● <b>はい</b> を選ぶ。</li> <li>● 「前の画面に戻る」..... →システム設定画面に戻ります。</li> </ul>

(太字はお買い上げ時の設定です。)

利用に応じた設定に変える(ナビ設定)

設定

# 音声 / 映像の設定を変える

## サラウンド効果

1 ツートップメニューから、**情報/設定** を選ぶ



2 **AUDIO設定** → **サラウンド効果** を選ぶ



3 **サラウンド効果** を選ぶ



4 **各項目を設定する** (右表)

### お知らせ

- お買い上げ時は、「サラウンド効果OFF」に設定されています。
- SRS CS Auto、Space Settingは、同時に選ばれません。

サラウンド効果	設定
<p><b>SRS CS Auto</b></p> <p><b>確認</b> を選ぶ (SRS CS AutoがONの場合のみ)</p> <p>■ <b>SRS CS Auto</b>とは Circle Surroundデコーダーによる車載用に特化したサラウンドシステムです。また、センタースピーカーやサブウーファーを使用せずに、5.1 chに相当する音場を再現できます。</p> <p>● リヤスピーカーを接続している場合(4 ch、4.1 ch)のみ有効です。</p>	<p><b>FOCUS</b></p> <p>感覚的に、耳の高さから音が聞こえるように調整できます。</p> <p>実際にスピーカーから音出力される高さ</p> <p>● 調整範囲 フロント 0～5～10 リヤ 0～5～10</p>
	<p><b>TruBass</b></p> <p>低音の強さを、スピーカーごとに設定できます。サブウーファーを使用しない場合も、サブウーファー使用時に迫る重低音を楽しめます。(サブウーファーを使用すると、より迫力のある重低音が楽しめます。)</p> <p>● 調整範囲 フロント 0～4～10 リヤ 0～4～10 サブウーファー 0～4～10</p>
	<p><b>Mix to Rear</b></p> <p>フロントチャンネルにセリフとBGM、リヤチャンネルに効果音などが収録されているDVDなどの再生時、後席ではセリフが聞き取りにくい場合があります。Mix to Rearを設定すると、リヤスピーカーにフロントチャンネルの成分(セリフなど)もあわせて出力されるので、サラウンドの臨場感を保ったまま、後席でもセリフなどを聞きやすくなります。</p> <p>● 調整範囲 0～40～100%</p>
	<p><b>スピーカーサイズ</b></p> <p>接続したスピーカーの大きさに応じて設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーカーサイズの設定を変更すると、変更したスピーカーに対するTruBassの設定値が、お買い上げ時の設定に戻ります。</li> </ul> <p>フロント ● 「16 cm未満」 「16 cm以上」を選ぶ</p> <p>リヤ ● 「16 cm未満」 「16 cm以上」を選ぶ</p>
<p><b>Space Setting</b></p> <p>7つの音場が選べます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「CLUB」..... クラブ風</li> <li>● 「THEATER」..... 映画館風</li> <li>● 「HALL」..... ホール風</li> <li>● 「CHURCH」..... 教会風</li> <li>● 「STADIUM」..... スタジアム風</li> <li>● 「BARN」..... 倉庫風</li> <li>● 「CATHEDRAL」..... 大聖堂風</li> </ul>
<p><b>サラウンド効果OFF</b></p> <p>サラウンド効果がOFFになります。</p>	

(太字はお買い上げ時の設定です。)



音質を設定する

1 ツートップメニューから、**情報/設定** を選ぶ



2 **AUDIO設定** から設定したい項目を選ぶ



3 SRS CS Autoが設定されている場合のみ **確認** を選ぶ



4 各項目を設定する (右表)

お知らせ

- SRS CS Auto設定時は、バランス/フェーダーおよびパラメトリックイコライザを調整しても、効果がありません。
- パラメトリックイコライザの効果は、ナビゲーション時の音声にも有効です。

項目	設定																																
<p><b>バランス/フェーダー</b> <b>確認</b> を選ぶ (SRS CS AutoがONの場合のみ)</p> <p>左右(バランス)、前後(フェーダー)の出力レベルを調整します。</p>	<p>バランス/フェーダーを調整する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 調整範囲：<b>バランス (左右)</b> LEFT:15 ~ <b>CENTER</b> ~ RIGHT:15</li> <li><b>フェーダー(前後)</b> FRONT:15 ~ <b>CENTER</b> ~ REAR:15</li> </ul>																																
<p><b>パラメトリックイコライザ</b> <b>確認</b> を選ぶ (SRS CS AutoがONの場合のみ)</p> <p><b>レベル調整</b> 各帯域のレベルを調整する。</p>	<p>周波数帯域ごとのレベルを調整する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 調整範囲：-10 dB ~ +10 dB</li> </ul>																																
<p><b>中心周波数効果</b> 中心周波数(ピークの周波数帯域)および効果を設定する。</p>	<p><b>中心周波数</b> 調整したい周波数帯域 (<b>BAND1</b> ~ <b>BAND7</b>) を選ぶ</p> <p><b>中心周波数/効果を調整する</b> 中心周波数 50Hz~100Hz</p>																																
<p><b>お買い上げ時の設定</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>BAND</th> <th>中心周波数</th> <th>レベル</th> <th>効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>80 Hz</td> <td>+6 dB</td> <td>Normal</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>140 Hz</td> <td>+4 dB</td> <td>Normal</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>270 Hz</td> <td>+1 dB</td> <td>Normal</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>550 Hz</td> <td>-2 dB</td> <td>Normal</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1.2 kHz</td> <td>+1 dB</td> <td>Normal</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6.4 kHz</td> <td>+5 dB</td> <td>Wide</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>12 kHz</td> <td>+4 dB</td> <td>Normal</td> </tr> </tbody> </table>	BAND	中心周波数	レベル	効果	1	80 Hz	+6 dB	Normal	2	140 Hz	+4 dB	Normal	3	270 Hz	+1 dB	Normal	4	550 Hz	-2 dB	Normal	5	1.2 kHz	+1 dB	Normal	6	6.4 kHz	+5 dB	Wide	7	12 kHz	+4 dB	Normal	<p>■ <b>中心周波数</b> レベル補正の中心となる周波数を設定します。 例：中心周波数を120 Hz、レベルを+4 dBに設定すると、120 Hzの帯域で+4 dB補正されます。</p> <p>■ <b>効果</b> レベルの変わりかたを設定します。 Narrow：中心周波数付近で大きくレベルが変わります。 Normal：NarrowとWideの中間です。 Wide：緩やかにレベルが変わります。</p>
BAND	中心周波数	レベル	効果																														
1	80 Hz	+6 dB	Normal																														
2	140 Hz	+4 dB	Normal																														
3	270 Hz	+1 dB	Normal																														
4	550 Hz	-2 dB	Normal																														
5	1.2 kHz	+1 dB	Normal																														
6	6.4 kHz	+5 dB	Wide																														
7	12 kHz	+4 dB	Normal																														

(太字はお買い上げ時の設定です。)

AUDIO詳細設定

1 ツートップメニューから、**情報/設定** を選ぶ



2 **AUDIO設定** → **AUDIO詳細設定** を選ぶ



3 設定したい項目を選ぶ



4 各項目を設定・確認する (☞右表)

お知らせ

- SRS CS Auto 設定時は、スピーカー出力レベル、スピーカーディレイおよびサブウーファー出力を調整しても効果がありません。

項目	設定
<b>スピーカー設定</b> <b>スピーカー出力レベル</b> 各スピーカーの出力レベルを調整する。 <b>確認</b> を選ぶ (SRS CS Auto が ON の場合のみ)	各スピーカーの出力レベルを調整する。 ● 調整範囲: $-12\text{ dB} \sim \pm 0\text{ dB} \sim +12\text{ dB}$ ● テスト信号(「ザー」という音)が最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。
<b>スピーカーディレイ</b> 基準点から各スピーカーまでの距離を設定する。 <b>確認</b> を選ぶ (SRS CS Auto が ON の場合のみ)	各スピーカーの距離を入力する。 ● 調整範囲: $0\text{ cm} \sim 500\text{ cm}$ ● 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。(10 cmあたり約0.3 ms) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 視聴位置を基準点としてください。</li> <li>● 距離は、水平に測定してください。</li> </ul>
<b>サブウーファー出力</b> サブウーファー接続時、サブウーファーから出力する音声を最大何Hzまでにするかを設定します。(カットオフ周波数) <b>確認</b> を選ぶ (SRS CS Auto が ON の場合のみ)	周波数を設定する。 ● 調整範囲: $60\text{ Hz} \sim 120\text{ Hz} \sim 200\text{ Hz}$ ● サブウーファー側に同様の設定がある場合は、サブウーファー側の設定を最大(最も高い周波数)にしてください。
<b>AUDIOシステム設定</b> <b>ルート案内・拡大図割込</b> ルート案内・拡大図割り込みする/しないを設定する。	● 「 <b>する</b> 」..... オーディオの画面を表示中に交差点などに近づくと、自動的に拡大図表示に切り換わります。通過後、もとの画面に戻ります。 ● 「 <b>しない</b> 」..... ルート案内・拡大図割り込みされません。
<b>HDD MUSIC 録音</b> (☞125ページ) CDダイレクト録音する/しないを設定する。	● 「 <b>オート</b> 」..... CDダイレクト録音する。(全曲録音) ● 「 <b>マニュアル</b> 」..... CDダイレクト録音しない。(1曲録音)
<b>画面 OFF</b> 画面OFFにしたときの状態を設定する。	● 「 <b>モニター OFF</b> 」..... 画面表示がOFFになります。 ● 「 <b>パワー OFF</b> 」..... 画面表示と音声出力がOFFになります。
<b>時計表示</b> オーディオ画面で現在時刻を表示する/しないを設定する。	● 「 <b>地図のみで表示する</b> 」..... 地図画面でのみ現在時刻を表示します。 ● 「 <b>地図/オーディオで表示する</b> 」... 地図画面とオーディオ画面で現在時刻を表示します。

(太字はお買い上げ時の設定です。)

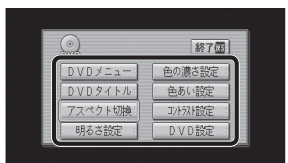
設定メニュー

1 画面がTV/DVD(VCD)/外部入力のときに、画面の一部をタッチしてタッチキーを表示させ、**設定メニュー**を選ぶまたは画面がデジタルTVのときに、**デジタルTVメニュー**から**映像調整**を選ぶ



(例: DVD)

2 設定したい項目を選ぶ



●約10秒間何も操作しないと、メニューは消去されます。

3 各項目を設定する

(☞右表)

※TV/DVD(VCD)/デジタルTV/外部入力の画質が調整できます。この調整で、ナビゲーションの画質は変わりません。

お知らせ

●表示される設定メニューの項目は、オーディオ画面によって異なります。

■DR COMPについて

(ダイナミックレンジコンプレッション)  
ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。  
小さい音声が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。

項目	設定
<b>DVDメニュー</b> (DVD再生時のみ設定可) トップメニューが表示されます。	●トップメニューを操作する。 (ディスクの取扱説明書をご覧ください。)
<b>DVDタイトル</b> (DVD再生時のみ設定可) タイトルメニューが表示されます。	●タイトルメニューを操作する。 (ディスクの取扱説明書をご覧ください。)
<b>アスペクト切替</b> ※ 画面の表示を切り換えます。 ●営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがあります。 ●ワイドでない通常(4:3)の映像をフル・ズーム・ジャストなどで画面いっぱいに拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形したりします。制作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルでご覧ください。 ●アスペクト切替を行うと、画面に表示される時計やタッチキーなどのサイズが、切り換えたアスペクトに合わせて変わります。	●「ノーマル」.....  通常の4:3(横:縦)の画面。左右が黒くなります。 <b>終了</b> を選ぶ。 ●「フル」.....  全体を横方向に伸ばした画面。どの位置も伸ばす比率は同じです。 ●「ズーム」.....  ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて伸ばした画面。上下が少しカットされます。 ●「ジャスト」.....  横方向に伸ばした画面。両端に近いほど、伸ばす比率が大きくなります。
<b>明るさ設定</b> ※ 「+」明るくなる 「-」暗くなる	●明るさを調整する 調整範囲: -15~±0~+15 <b>終了</b> を選ぶ。
<b>色の濃さ設定</b> ※ 「+」色が濃くなる 「-」色が薄くなる	●色の濃さを調整する 調整範囲: -15~±0~+15 <b>終了</b> を選ぶ。
<b>色あい設定</b> ※ 「+」赤色が強くなる 「-」緑色が強くなる	●色あいを調整する 調整範囲: -15~±0~+15 <b>終了</b> を選ぶ。
<b>コントラスト設定</b> ※ 「+」白と黒の差がはっきりする 「-」白と黒の差が小さくなる	●コントラストを調整する 調整範囲: -15~±0~+15 <b>終了</b> を選ぶ。
<b>DVD設定</b> (DVD再生時のみ設定可)	
<b>表示モード</b> ワイドサイズのDVD再生時の映像サイズを設定する。	●「ワイド」 ●「レターボックス」 ●「パン&スキャン」
<b>音声言語</b> 音声言語を設定する。	●「日本語」 ●「英語」 ●「中国語」
<b>字幕言語</b> 字幕言語を設定する。	●「日本語」 ●「英語」 ●「中国語」
<b>メニュー言語</b> メニュー言語を設定する。	●「日本語」 ●「英語」
<b>DR COMP</b> ダイナミックレンジの圧縮率を設定する。 (ドルビーデジタル再生時のみ)	●「MINIMUM」..... 最も圧縮した、一般のテレビ放送などに近いモード ●「STANDARD」..... ソフトの制作者が小音量での視聴用として推奨するモード ●「OFF」..... 圧縮しない、映画館そのままのモード
<b>拡大図割込み連動</b> 拡大図割込み連動する/しないを設定する。	●「連動する」..... ルート案内・拡大図割込(☞168ページ)に連動して、拡大図表示中にDVDが一時停止され、拡大図消去後、続きから再生されます。 ●「連動しない」..... 拡大図割込み連動されません。

(太字はお買い上げ時の設定です。)